

令和5年度 北海道七飯養護学校 学校評価結果

1 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方針

重点的に改善が必要な項目等について、次に掲載します。

なお、結果等にある項目内容については、別添の資料を参照してください。

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
平均値が最も低く重点的な改善が必要な項目	平均値は3.3ポイントである。 最も低い数値は3.0、項目26「共生社会の実現に向けて、地域の小・中学校等や関係機関と交流及び共同学習に取り組んでいる。」である。 また、項目13「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、効果的にICTを活用し指導している。」について16.4%の否定的な回答がある。	【保護者】 平均値は3.6ポイントである。 最も低い数値は項目13「PTAの活動について周知され、保護者が参加しやすい活動となっていますか。」の3.3ポイントである。 また、項目8「本校のICT教育の推進や各教育活動について、分かりやすく情報発信や説明がされていますか。」についてはも3.3ポイントである。
改善方策	自己評価で最も低くなった項目26については、地域の学校との交流について依然と比較するとまだ足りないと感じている職員が一定数いる。次年度に向けてはコロナ禍前の水準に戻すことだけではなく、教育課程を踏まえ何を目標に交流及び共同学習の充実を図るか学校全体で確認した上で、内容を検討し計画を推進していく。 また項目13については、ICT機器を活用する場面は増えているものの、活用して結果どのような効果があったかなど評価が適切に行われていないため、課題意識はあるが改善の方向性が見えていない。現状の評価と検証を行い、学校としてどのように活用していくか教育課程を踏まえて目標を明確にしていく。 保護者評価は平均3.6ポイントとおおむね好評価が得られており、項目13と項目8についても前年度の2ポイント台から改善している。項目13についてはコロナ禍で困難だった活動が再開するなど活動内容が活発化しており、次年度以降も役員と事務局で適切な活動内容を検討していく。項目8については引き続き適切な発信を行う。	
自己評価の数値よりも学校関係者の数値の方が低い項目	保護者からの評価が下回る項目はない。	
改善方策	全体的には平均値を上回る結果となっているが、ICT機器を活用した教育活動に係る、分かりやすい説明や学んだことを生活に生かすことについて、丁寧かつ具体的な説明を行っていく。	
自由記述	いじめ防止の対応や組織的な対応については一定の評価が得られた一方、狭隘化、業務の偏り、情報共有に係る改善に関する意見がある。	【保護者】 学校からの情報発信について発信方法や分かりやすい内容に向けた要望や施設設備の改善についての意見がある。
改善方策	意見を参考に教育活動の改善や保護者の意見を踏まえた障がいの特性に応じた生活力を高める教育活動の改善充実、適切な情報発信などに継続して取り組む。	
公表方法	本校ホームページに集約結果を公開している。 PTA役員会並びにPTA総会等において説明し、意見等を拝聴している。 学校運営協議会委員に文書を配布の上、説明し、指摘や意見等を拝聴している。	

3 添付資料

(1) 資料1 令和5年度教職員・保護者による学校評価の集計結果